

家畜衛生だより

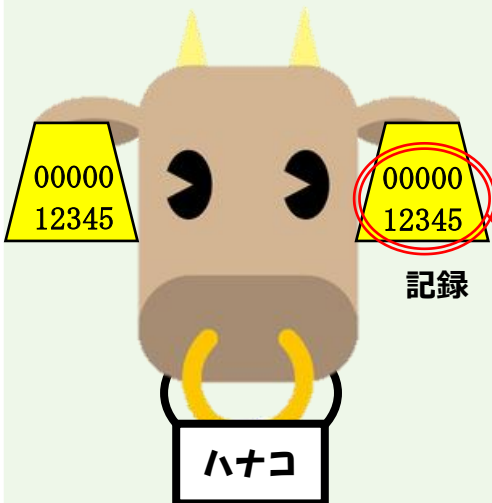
県内和牛の血統矛盾(親子関係の不一致)の事例が発生！ ～家畜人工授精の記録・管理の徹底を！～

人工授精した母牛の名前を誤って記録したことにより、県内で「和牛の血統矛盾(親子関係の不一致)」の事例が発生しました。
適正な和牛の血統登録には、正確な繁殖記録と精液・受精卵の取り扱いが必要です。

○記録に不備はありませんか？

- 人工授精・受精卵移植を実施の際には、**母牛名**だけでなく、必ず**母牛の個体識別番号(耳標番号)**の確認と記録をしましょう！
- また、**精液・受精卵証明書番号**も記録しましょう。

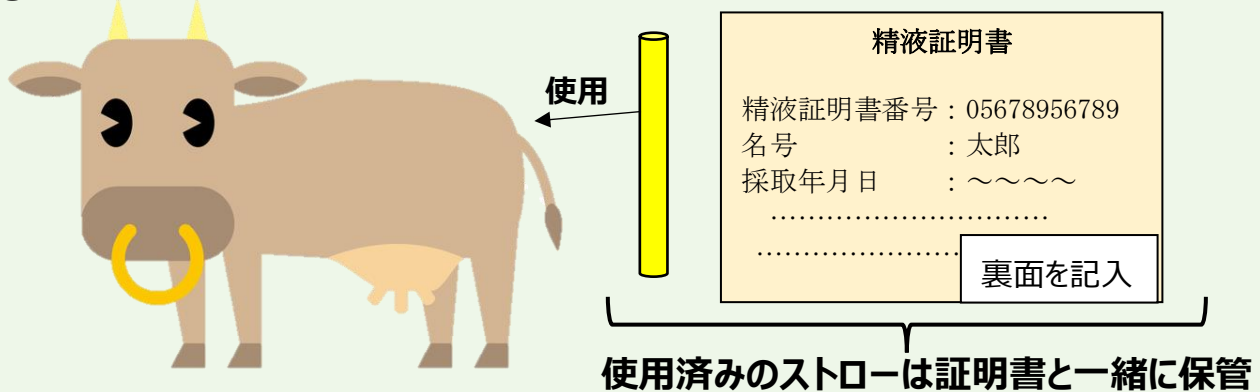
【例】繁殖記録簿の母牛・種畜名欄に、母牛の個体識別番号を追記する。

	<p>人工授精記録簿</p> <p>R7.12.1 実施 母牛：ハナコ 母牛耳標番号：0000012345 種畜：太郎 精液証明書番号：05678956789</p> <p>記録</p>	<p>精液証明書</p> <p>精液証明書番号 05678956789</p> <p>名号：太郎 採取年月日：~~~~~</p>
--	---	--

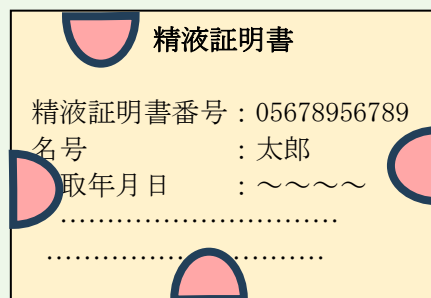
裏面もご覧ください

○他にもここに注意！

①精液・受精卵と証明書は一体的に取り扱しましょう。



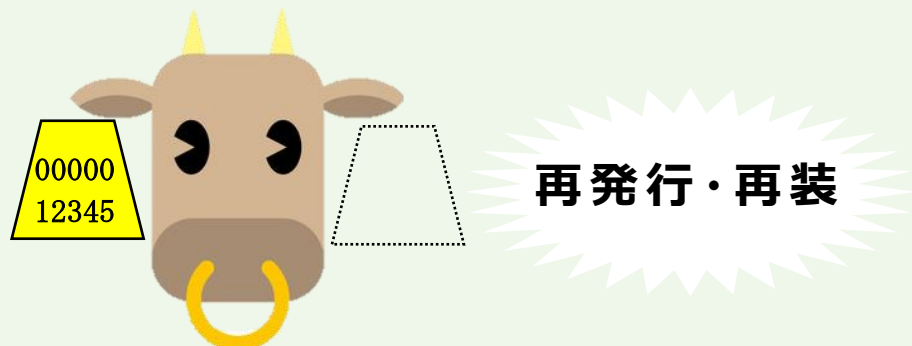
②不正が疑われる精液・受精卵は譲渡・使用しません。



証明書に…

- ・既に割り印の跡がある
- ・裏面に貼り付けた形跡がある

③耳標は両耳に装着し、片方でも脱落したら直ちに再発行・再装着をしましょう。



○和牛の血統矛盾が発生すると…

- 親子関係が不明な子牛は登記することができず、和牛として販売できません。
- 記録の不備が原因の場合、他の子牛の血統の信用低下にもつながります。
- 家畜改良増殖法違反に問われる可能性があります。

適正な和牛の血統登録への御理解・御協力をよろしくお願いします。

